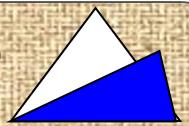


会報

日本勤労者山岳連盟(富山県連盟)  
新日本スポーツ連盟



# 三島野スポーツクラブ

No. 298

2025年7月1日  
代表 岩井 富雄  
射水市宝町 1364-35  
TEL・FAX 57-8180



八方尾根 第一ケルンと白馬三山 小木 清 画

## 7月・8月企画案内

○7/13(日) 極楽坂山

○7/21(月)～23(水) 針ノ木岳から爺ヶ岳  
(参加申込は締め切りました)

○7/25(金) 八方尾根トレッキング

○8/11(月)山の日 乗鞍岳

○8/24(日)～25(月) 南アルプス・鳳凰三山

○8月下旬(平日企画) 上高地～岳沢

○9/5(金)～7(日) 尾瀬ヶ原



- ◆ 6/1 クリーンハイク  
小佐波御前山
- ◆ 6/8  
安峰山と宇津江四十八滝
- ◆ 6/22  
銀杏峰

簡易ハーネスを装備に

## 7月・8月企画案内

# 7/13(日) 極楽坂山

ゴンドラリフトが老朽化で廃止され、瀬戸倉山や大品山がちょっと遠くなりました。代わって出たプランが立山山麓スキー場トップの山頂「極楽坂山」。

### 【行程】

亀谷林道登山口 650m 林道出合 955m ピーク  
⇒ 極楽坂山 ⇒ 展望台 1171m (往復)  
標高差 560m 登り 2 時間 30 分 下り 2 時間  
体力度・技術度とも★☆☆☆☆ L: 的場邦夫  
【参加申込】7月3日までの的場邦夫へ  
SMS 090-4320-5325



上・登山道標識  
左・極楽坂山頂の  
展望台

# 7/25(金) 八方尾根トレッキング

咲きほころぶ高山植物を愛でながら、  
右に白馬三山、左に五竜岳の岩稜を仰ぎ、  
夏の北アルプスを満喫する山旅

### 【出発】 5時30分

### 【行程】

八方尾根スキー場黒菱平（リフト） ⇒ 八方山荘  
⇒ 八方池 ⇒ 扇雪渓 ⇒ 丸山ケルン (往復)  
標高差 約 600m 登り 3 時間 下り 2 時間 15 分  
体力度★☆☆☆☆ 技術度★☆☆☆☆  
L: 荒井英治  
【参加申込】7月15日まで荒井英治へ  
SMS 080-8695-6639



左・  
丸山ケルン  
上・  
不帰嶮

7/21(月)～23(水)  
針ノ木岳・蓮華岳→爺ヶ岳縦走  
参加申込を締切りました。ご了解ください。



8／11(月・山の日)

大展望と高山植物が待つ

# 乗鞍岳

3025.6m

高山市／松本市

【出発】6時00分 薬勝寺池P（10分前まで集合）

【行程】朴木平バスターミナルから畳平までバス乗車

畠平～肩の小屋～剣ヶ峰を往復

累積標高差 約400m 歩行時間 3時間（ゆっくり）

体力度・技術度とも★☆☆☆☆

畠平から短時間で登れるコースにも足を運びたいと思います。

魔王岳（2764m）畠平から往復 30分

大黒岳（2772m）畠平から往復 45分

富士見岳（2817m）剣ヶ峰からの下山途中の寄り道に登ることもできます

【費用】約6000円（畠平までのシャトルバス往復3400円）

【参加申込】8月1日まで 的場邦夫へ SMS 090-4320-5325



上・お花畠  
下・剣ヶ峰山頂



8／24(日)～25(月)

# 南アルプス

地蔵岳 2764m 観音岳 2840m 薬師岳 2780m

南アルプスの白峰三山（北岳・間ノ岳・農鳥岳）や八ヶ岳、富士山の眺めが素晴らしい！

山梨県南アルプス市

1日目 中央自動車道経由 → 青木鉱泉登山口 → ドンドコ沢コース  
→鳳凰小屋（泊）

標高差約1400m いくつもの滝の景観を楽しみながら登る。

歩行時間6時間30分

2日目 凤凰小屋 → 地蔵岳（オベリスク）→ 観音岳 → 薬師岳  
→ 中道を下る → 青木鉱泉

鳳凰小屋から累積標高差 登り標高差 登り670m 下り1970m

歩行時間9時間30分

体力度★★★☆☆ 技術度★★☆☆☆ L：塚 良昭

費用は約23,000円

参加申込は7月10日まで 塚 良昭へSMS 080-8033-7427 又は  
ラインで。 凤凰小屋に8名の予約をしました。先着順に8名まで



# 8/20(水)

自主企画 上高地～岳沢 日帰りトレッキング

夏のにぎわいが終わりの時季を迎える上高地。河童橋から岳沢湿原を歩き、北穂高岳沢登山口へ。そこから岳沢小屋をめざします。

途中の展望台から間近に迫る穂高連峰を仰ぎ、上高地を俯瞰する。

標高差 650m 登り 3時間 下り 2時間

〈L〉 堀井泰則

詳細は次号会報  
No.299 に記載



岳沢小屋

# 9/5(金)～9/7(日)

## 尾瀬ヶ原／燧ヶ岳・至仏山

ひうちがだけ 2356m しぶつさん

2228m

『♪夏が来れば～』の歌で誰もが知る高層湿原。三島野スポーツクラブの企画に初めて登場。尾瀬ヶ原散策と深田久弥の百名山二座にも登頂する計画です。

ルートなど詳細計画は次号会報No.299 に記載します。

詳細は次号会報  
No.299 に記載



尾瀬ヶ原と燧ヶ岳

## 簡易ハーネスを装備として必携に

登山道の急峻な登り・下りや急な斜面のトラバース（横断）は事故のリスクが高くなります。そこで、万が一のできごと「足をすべらした」「つかんだ岩が崩れた」などが発生したとき、体をロープで確保しておけば滑落を未然に防ぐことができます。また、“つながれている”という安心感は、高度感から生まれる恐怖心をやわらげてくれます。

世話人会では、これまで労山県連の登山セミナーで学んできた「ロープワーク」の初步的な基本である『簡易ハーネス』をクラブ員が習得して、登山装備品とし、そのために必要なスリングとカラビナを必ず携帯することを確認しました。

スリングは幅 15mm 長さ 150cm or 120cm 1本

カラビナは登攀用で登山用品店かネットで購入できます。



山行報告

# 6/1(日) クリーンハイク 小佐波御前山

おざなみごぜんやま  
小佐波御前山

754m  
富山市

メンバー：〈L〉的場邦夫、〈SL〉塚 良昭、荒井英治、堀井泰則、加藤日出子、石黒洋子、今村和子、棚田清志、草 進、浦 幸江、有澤真知子

【行程記録】

7時	薬勝寺駐車場出発
8時	猿倉山森林公園駐車場
8時15分	出発式
8時30分	クリーン活動開始
8時40分	猿倉山
9時30分	御前山、休憩20分
10時	獅子ヶ鼻
10時30分	御前山、休憩30分
11時30分	猿倉山、休憩10分
12時30分	豚汁で昼食、
13時30分	駐車場出発



雨の中でも笑顔満開の三島野スポーツクラブの参加者

塚： 生憎の雨模様でしたが、獅子ヶ鼻までクリーンハイクを楽しみました。今回は初めての三団体合同での開催で新鮮でした。昼食の豚汁は大変美味しく好評でした。

加 藤： 出発から雨は降り止まず登山中ズ～ッと降り続けて、獅子ヶ鼻で下山は無念だったが、猿倉山バーベキュー広場に着くと、温かい豚汁を食べる事が出来最高に幸せでした。料理担当荒井さん「美味しいかったです!!!」お世話ありがとうございます☆感謝します(^\_^)v

石 黒： 小佐波御前山での合同クリーンハイク、車の中には大きなお鍋や材料などいっぱい。計画を立て、準備し、当日の調理とお世話してくださった方々には本当に頭が下がります。おかげさまで雨の山歩きの後、温か～い豚汁で心も体も温まりました。雨でも皆さんと一緒に歩くと楽しいです。感謝の一日でした。

今 村： 小雨の中、ゴミを探しながら、山歩きました。整備された綺麗な山路で、ゴミを見つけるのはむずかしかったです。いろいろな花に出会い、お喋りしながらの山歩きは楽しかったです。足元には、白く透き通ったギンリョウソウ、笛百合の黄緑色の蕾、黄色い花のギンラン、葉の裏に白い花を咲かせるホウチャクソウ、二人シズカなどなど。雨の中で、生き生きと咲いていました。ヤマボウシ、ヤマツツジ、タニウツギは満開で、とても綺麗でした。やっと12時半、待ちに待った豚汁は、あつあつで具沢山でとても美味しかったです。豚汁を準備してくださった荒井さん、運転してくださった堀井さん、的場さん、塚さん、ありがとうございました。

的 場： 富山県勤労者山岳連盟主催で加盟3団体合同でクリーンハイクを小佐波御前山で実行しました。小雨の中記念撮影後、会長（安田）挨拶後各自のグループで各々のペースで実行した。今日は昨年同様終了後鍋が待っているので皆ルンルンです。三島野スポー



ツクラブは獅子ヶ鼻で折り返しバーベキュー場へ各クラブ 12:30 めどに集合し鍋汁を食し解散式（記念撮影）後散会した。収集ごみは 1.7 キロでした。天候が良ければもっと楽しめた。鍋の係（各クラブ 1 名）荒井、和泉、山村、堀井さんに感謝感謝！！



棚 田： 梅雨に入ったような雨模様の中を傘を差

しながらたっぷり歩きました。ゴミはあまりなく、雨にうたれた可憐な花が目立ち、新緑が目に爽やかでした。雨が小降りになった御前山では、今年はあまり聞いていないウグイスのきれいなさえずりも聞けました。バーベキュー広場では他のクラブの懐かしい顔にあったり、珍しい話が聞けたりしたのも合同クリーンハイクの楽しみです。昼食には熱々の美味しい豚汁を頂きました。準備して下さった方々に感謝です。

有 澤： 歩き始めから雨。しかもスタートの長い階段に早くも息も足も辛くなるが頑張る。♪雨に歩けば～♪と、新緑と雨を楽しむ事に気持ちを切り替える。しかしカッパの中がおかしい。汗で蒸れているのと違うような…。雨具の防水が効いてなくて雨がしみ込んでいる。結局、止まない雨ですぶ濡れに。下山してからの豚汁に体が温まり救われました。ほんと、美味しかったです。雨と緑も楽しみました！

草 井： 久々の山で合同クリーンハイキングです。雨は早いうちから晴れると、かすかな望みと標高差が余り無く登りやすい小佐波御前山です。昼食は鍋の楽しみを携えての山登りです。階段が随所にあり登りやすい様でそれなりに足の筋肉が疲れましたが、しばらくぶりの山歩きを無事楽しく過ごす事が出来ました。豚汁と楽しい会話を楽しみながらの快い疲れと癒しの一日でした。豚汁、皆さん的好評でしたね。有難うございました。

堀 井： あいにくの雨模様。途中から”雨あがる”を期待したが、降り続いた。カッパを着て山を歩くのは久しぶりだった。自分はみんなから遅れたので途中リタイア。豚汁は大変美味く、冷えた体に暖気を送り込んでくれました。クリーンハイクの豚汁は昨年に続き好評。準備は大変ですが『なんか、クセになりそう』。県連合同企画で総勢 34 人は大きな集団でした。

浦 井： 霧がかかる山を傘をして出発した。登山道には目を皿のようにしても、ゴミを見つけることができなかった。山を愛する人は、さすがにゴミを落とさないんだなと思った。やっと小さなビニールの袋とプラスチックの破片を拾って、安心した。たくさんある階段は一体何段あるのかと数えながら登った。460 段もあった。昼食の豚汁の美味しさに参加者全員が笑顔になった。ずっと雨降りだったけど、思い出に残るクリーンハイクになった。美味しい豚汁をありがとうございました。

荒 井： ここ 10 年ほどはそれぞれのクラブが単独でクリーンハイキングを実施していたが、久しぶりに労山県連傘下の 3 クラブ合同でクリーンハイキングをやろうと理事会で決めて、実施した。クラブ間の交流の機会が必要と思っていたのでやって良かったと思う。34人も参加者があったのは大成功だった。クリーンハイキングの後、猿倉山の屋根付きのバーベキューコーナーで、豚汁担当係が 3 時間ほどかけて作った温かい豚汁で昼食をとり、歓談した。私は豚汁担当で、具材の量が足りないので心配していたが、作ってみると、丁度良い量の豚汁が出来たのでほっとした。



山行報告

6/8 (日)

飛騨市古川町

# 安峰山 & 宇津江四十八滝

1058m

メンバー：(L) 堀井泰則、(SL) 的場邦夫、加藤日出子、山本則夫、塚 良昭、甘味有喜  
川渕順正、林 憲彦、草 進、石黒洋子、仲西雅子、高井増美、甲かほる

## 【行程記録】

6 : 00	薬勝寺P 出発
8 : 25	登山口
9 : 55	安峰山頂上
10 : 25	下山出発
11 : 30	登山口着 道の駅アルプ飛騨古川で 昼食
13 : 00	まで昼食
13 : 15	宇津江四八滝めぐり トレッキング
14 : 45	出発
17 : 00	薬勝寺P 帰着 ひとりごち感想



**高 井：**今日は、熊出没にドキドキしながらも新緑（様々な緑）に、目や心が癒されました。ツツジもひっそり控えめだったのが、印象的でした。午後からの、滝巡り！マイナスイオンで、パワーアップ！かな？と、思いきや足元に要注意！で、冷汗が吹き出ました。自主企画してくださったリーダーの堀井さん、本当にありがとうございました。心身ともに癒やされた1日でした。

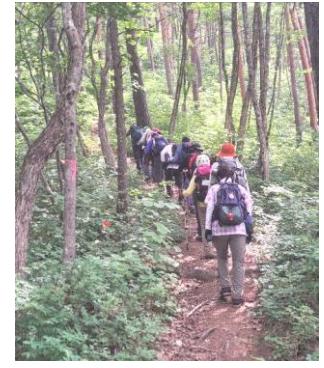
**仲 西：**新緑の季節で山道の両脇は緑がいっぱい自然を満喫しながら登頂できました。山頂からの眺めもよく、いつかは行ってみたい乗鞍岳、白山などが見えました。宇津江四十八滝は大滝、銚子口滝など流れ落ちる様は圧巻でした。楽しい一日を過ごさせていただきお世話をしてくれた皆さんに感謝です。

**堀 井：**安峰山登山口までR-41からR-360を利用し、飛騨古川駅を経由し着きました。初めて走ったルートでした。安峰山は極めて順調に登ることができ、Lの任を果たすことができました。宇津江四十八滝は初めての人も多く、展望台で折り返す予定が最終の滝まで挑む人がいました。事前調査山行をして日程を作ってバッチリでしたが、温泉を省いたのが残念無念でした。季節を変え、秋に「朝霧の安峰山&紅葉の宇津江四十八滝」企画ができたら…と思っています。その時は、飛騨牛ランチと宇津江四十八滝♪も楽しみたい！

**的 場：**どれだけってきた人のヤマップの活動記録見ても、実際自分が体験するところなどに違うんだと、実感させられた今回の山行でした。安峰山も宇津江四十八滝も十分堪能しました。機会があれば四十八滝の花の森に行ってみたくなりました。

**山 本：**半年ぶりの登山で少し不安でしたが、天気は薄曇りで思ったほど暑くなく、快適に登山できました。頂上には展望台があり、近くには飛騨古川市街が見え、遠くには薄雲越しにぼんやりと白山、乗鞍岳、御嶽山、笠ヶ岳が見えて満足しました。

**甲**：今日は欲張りのコース。午前は安峰山、午後は宇津江四十八滝巡りです。標高差 500m。歩いた距離 6.2km。歩数 17,000 歩。頑張りました。安峰山への道には、ギンリヨウソウが沢山ひそかに咲いていました。新緑深いとても静かな森でした。滝巡りは、水しぶきのおかげでとても涼しかったです。お昼には、チャーシューのおいしいラーメンも食べ、大満足な山行でした。



**石黒**：新緑の安峰山を歩き、午後は宇津江四十八滝へ。自然が作り上げた 13 の滝はすばらしかった。滝の源は標高 1200m の滝上川から流れ出す四十八滝川。この溪流は猪臥山付近の山腹から発するという。全長 900m の景色がつくられた歴史を想像するとわくわくする。秋や冬の景色を映像で見てみるとますます心惹かれた。近くの「花の森」に咲き誇っている「クリンソウ」がなぜか 1 輪だけ「ねじ栗」近くに咲いていて可愛らしい姿を見せてくれた。集合写真での皆さんの笑顔、「安峰山」というお習字を見て、楽しかった三島野クラブの山行に感謝。リーダー、ご一緒した皆さん、ありがとうございます。

**加藤**：森緑が潤って緑に囲まれ気持の良い安峰山でした。お花はギンリヨウソウ、ヤマツツジ、シャガ。山頂の展望台からは古川の街並みがドーン。北展望台からは北アルプス、北ノ保岳、野口五郎岳、笠ヶ岳、乗鞍岳、御嶽山も臨めた。午後からは宇津江四十八滝へと移動。滝は熱い身体を冷やしてくれ、様々な表情の滝に癒された。

**林**：標高差・登りの時間などを考えて参加申し込みをしました。どうやら予定どおりの行程で皆さんに付いて山頂に達し、大変うれしかったです。山頂周辺での思いがけなくわらび摘みが出来、晩酌の一品になりました。宇津江四十八滝は何度も登り甘く見たのが失敗でした。ヘルメットやストックは持っていくべきでした。ともあれ無事帰宅できたことを喜んでいます。2 日間筋肉痛に悩まされました。

**甘味**：清らかに流れおちる滝の音、新緑の涼やかな風が渡る川面の身をまかせ至福のひと時を堪能した人々は、心が洗われるようだ！！！と表現する。洗われてみたいものだ！！と思つた景色でした。大人数山行は楽しかったです。

**塚**：安峰山はよく整備され歩きやすい登山道で、山頂からは穂高・笠ヶ岳・黒部五郎岳が見え、またかすかに御嶽山・乗鞍岳がおがめ、気軽に楽しく登れる山でした。宇津江四十八滝は変化に富んだ滝を楽しみました。

**草**：雨を気にしながら、安峰山の登り口へ。急激な登りも無く、緩やかで歩きやすく登りやすいと感じましたが、段々と足が疲れたころに山頂到着です。見晴らしはいまいちでしたが十分楽しめ満足の安峰山です。道の駅で休憩し、宇津江へ。もみじ等の新緑が素敵で、秋の紅葉も更に映える素敵な場所だと心に秘めた感激の山歩きでした。もう一度秋紅葉時期?に行きたい山の一つに付け加えました。

**川瀬**：梅雨入り前の薄曇り日、安峰山は実に歩き易い山でした。

登山口には頂上まで一時間半とあり、ガイドには「奥飛騨の森を歩くハイキングコース」とあります。久しぶりに万緑の中、薰風を感じながら歩きました。そして時折聞こえる「ツピ、ツピ、ツツピー」の爽やかな轟り。あれはヤマガラかシジュウカラか？そんなことを考えながら歩いているとやがて頂上。頂上にはウッドデッキがしつらえてあり眺望よく、古川の町並みや水田が輝いて見えました。その背後には猪臥山、そのまた奥には雪を抱いた白山がうっすらと見え感激。この山行に参加させて頂き、リーダーや参加の皆様に感謝です。



〔メンバー〕 L-的場邦夫、SL-加藤日出子、守田清子、新田俊明、今村和子、森田絹代  
塚 良昭、島倉津也子、棚田清志、石黒洋子

## 【行程記録】

薬勝寺池 P 出発	5:22
小葉谷登山口	8:03
ブナの木	9:00
極楽平	10:00
希望の鐘	10:20
頂上	11:30~11:07
銀杏峰前山	12:00
林道	12:50
「あっ宝んど」入浴	
薬勝寺池 P	17:05



## ひとくち感想

島倉：リーダーは全員に役職を与えてくれて、とても楽しく職務を全うできた、山行になりました。遠路運転担当の2人はスピードを守り安全運転で、ありがとうございました。ご苦労様でした。

塚：心配した天候も雨に遭わずに下山でき、何よりでした。登りは整備してある登山道で急登でしたが、登りやすかったです。山頂は変わった雰囲気の広い台地で、気品のある綺麗な大山蓮華を見ることが出来ました。下山は滑りやすい急坂で最後まで気が抜けませんでした。

加藤：6/5(木)に的場さんと二人で下見した時に、不要な枝をノコギリで切り、足元の邪魔な枝を除去し、道標の不明解な箇所にピンテを付けて、労働作業をしてきました。なので～今日の本番は山道はかなり整備され登り易く、険しい急騰を怪我無く皆で下山でき良かったです(^\_^)v

森田：数日前から天気予報は雨でしたが、当日はなんとか曇り。個人的には5月末、6月半ばに2回の山行が中止となっていたので、行けてよかったです！数日前から猛暑日が続き、救護担当としては心配なこともありましたが、今回も何もすることなく終了。よかったです。皆様に感謝！

新田：銀杏峰山行は「オオヤマレンゲ」に出会う山旅になりました。山頂近くの限られた場所に生息するその花のつぼみは、霧の中の妖精を思わす気品ある姿でした。吉田類ならここで一句詠む場面ですが、我々は登山の後のお楽しみ「あっ宝んど」で汗を流して帰宅しました。

森田：知らない山でしたが、山名の響で参加を申し込みました。有名なオオヤマレンゲが見られてよかったです。暑くて寒い銀杏峰でしたが、雨にあわなくて幸いでした。

オオヤマレンゲの花



**今 村**：鳥居をくぐると、それから2時間、ずっと急な登り道、林の中は、涼しくて、別世界。真っ白なシライトソウ、ちょっと透明なギンリョウソウ、極楽平から希望の鐘の辺りには、ちょうど開きはじめたコバイケソウの群生が広がる。頂上近くには真っ白で今から開きそうなオオヤマレンゲの蕾を見つける。1440メートルの頂上は風が強く寒い。下はチェーンスパイクを借りて、急な下り坂道を歩く。飽きることのない坂道登山、とても楽しかったです。リーダーさん、運転してくださった方、ありがとうございました。

**石 黒**：低登山口からずっと急登なのに、海拔1200mから「此より急登要注意」の看板が現れる銀杏峯！極楽平に出てオオヤマレンゲ（国の天然記念物で森の貴婦人と呼ばれる落葉木）に会えることを楽しみに登りました。下りも激坂！「あっ宝んど」（お風呂）を楽しみにして集中力を切らさないように歩きました。暑さではないか心配していましたが、心地よい風が吹き（標高もあり）、木々に囲まれ、雪渓もあり）、程よい速さで歩いてくれるサブリーダーやリーダーのおかげで大丈夫でした。ササユリ、コアジサイ、シライトソウ、コバイケイソウ、にも会え充実感がある山歩きでした。事前下見でピンクテープを付けたり木々をとかしたり、また遠方への運転など、ご一緒したみなさん、ありがとうございました。

**的 場**：下見登山から2週間経過しいよいよ本番を迎え、天気予報を気にかけ曇りの予報にほっとして決行しました。下見登山の時に初めて知ったオオヤマ蓮華が咲く銀杏峯。シーズンには大変な混雑だと聞いた。駐車場は一杯だったらどうしようと心配していたが、登山口に着いたら4台ぐらいしかなく余裕で駐車できてほっとした。途中下山してきた人にオオヤマ蓮華の咲き具合を聞いたらまだ蕾だと教えてもらう。皆を励まし順調に高度を上げ極楽平手前で初めてのオオヤマ蓮華に出会い感激した。コバイケソウとオオヤマ蓮華の蕾に元気をもらい頂上へ。頂上手前と頂上直下に花が有りました。あいにく頂上は展望が無く、風が強く霧が立ち込め寒いくらいでした。なので頂上直下の風裏で休憩した。早々に下山し予定より早く駐車場に着いた。やはり下山はチェーンスパイクが有効でした。健脚揃いのメンバーに感謝です。満開のオオヤマ蓮華が見たかったな！！

**棚 田**：登山計画書に「熱中症と雨、両方の対策を考えて下さい。」と個人装備には「チェーンスパイク」の記載がある。前日は猛暑日であり、今日は梅雨前線が近づいている中での山行であり、この記載がピッタリの山行だったと思う。最初からずっと急登で汗びっしょりとなり、頻繁な水分補給と休息。山頂付近では藪の濃い広い稜線でガスっていて風が強くてみるみる寒くなつた。そんな中で山頂付近に咲いていたオオヤマツツジの白い清楚な花が印象に残る。新緑のブナ林もまた良かった。前山から林道までの急な下り坂ではチェーンスパイクがよく効いた。事前山行では目印のピンクテープを要所に設置しルートを分かり易くし、歩行の妨げになる木の枝は切除して片付けられたと聞く。念の入った事前準備で安全で快適に歩くことが出来ました。本当にありがとうございました。

急な下山路を下る



今年は福井県を中心に、「山の日」記念イベン  
ントが行われるそうですが、なぜ 8月 11  
日？「山の日」制定にかかわった労山事務局長  
の川嶋高志さんにその由来を聞きました。

「もともとは、6月の第一日曜を提案して  
いたんです。この日は全国一斉クリーンハイク  
を行う日。夏山シーズンが始まる時期で、6  
月には祝日が無いから丁度よい良いという理  
由でした。」

労山を含む5つの山岳団体が「山の日」制  
定協議会を結成し、活動を始めたのが201  
0年。その後、超党派の国會議員による「山の  
日」制定議員連盟が発足し、国民の祝日にしよ  
うという動きが現れました。

「6月第一日曜はいろんなところから反  
対意見が出ました。山小屋からは『6月はま  
だ営業していない』大企業からは『休みが増え  
ると工場がストップして困る』、学校関係者か  
らは『授業時間が足りなくなる』など。それで、  
企業や学校に影響の少ないお盆休み前が採用  
されることになつたんです」。

8・11が山とは関係がないなんて、ロマン  
がないなあ。でも漢数字にして「八一一」。ち  
よつと山の形にも見えなくもない！？

## [三島野スポーツクラブ世話人会]

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、岩井富雄、的場邦夫、堀井泰則、塚 良昭、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、石黒洋子、加藤日出子、島倉津也子、守田清子の13名で構成します。

〔監事〕今村和子、浦 幸江

江 〔相談役〕山田 格、林 憲彦

7月の世話人会開催7月8日（火）と7月22（火）午後2時から。会場は「はなみずき」です。

会報編集担当 会報に記載する原稿は下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp) 甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

会報『**三島野スポーツクラブ**』をインターネットで見るためには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは [http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html) を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



編 集 後 記



- いよいよ夏山シーズンがやってきます。低山では暑さがひどいのでどうしても日本アルプスなどの高山に目が向いてしまいます。しかも、高山植物の花々が咲き、吹き出た汗を拭ってくれるような涼風がここちよい。こんな山歩きの企画がラインナップしました。お気軽に参加してください。
- しかし、遭難・事故の発生件数はここ3年程高い水準で推移しているという報道がありました。今からでも遅くありません、トレーニングを！体力低下が事故につながります。
- コロナ禍以来、山小屋の利用が“完全予約”。以前は定員などお構いなしに泊まれたが、定員なれば予約の受付ができません。企画するリーダーは腐心して計画を作っています。ご理解とご協力を！
- 日帰りの北アルプスの企画も紹介されています。宿泊がダメでも高い峰や稜線歩きで高山植物を愛で、岩稜の山岳風景を楽しみましょう。ござってのご参加を！
- クリーハイクはあいにくの雨の中となりましたが、冷たく濡れた体にあたたかい豚汁が何よりごちそう。好評な様子がうかがえます。それにしても総勢34名分を作るのは大変だったでしょう。世話方の皆さんありがとうございました。
- 二つのルートを一つの企画にした飛騨古川の安峰山と宇津江四十八滝。それぞれにはじめての人が多かったようです。宇津江四十八滝の最上部まで標高差180m。しかも急登の登山道もあります。ちょっと意外な険しさにビックリがあったようです。
- 6/22の銀杏峰の山行報告をこの会報に載せるため、翌23日のお昼まで原稿を送ってもらいました。疲れている体には無理強いだったでしょうか、それとも感動が新鮮なままで書けて好かったです？
- ご協力ありがとうございました。